

## 第69回経営協議会議事要録

日 時 平成27年9月28日（月）13時00分～14時30分

会 場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者（委員）

内田、丸茂、原、赤澤、奥村、北島、佐山、塚本の各委員  
島田学長、早川理事、堀理事、下間理事、杉山理事、藤井理事

（列席者）

鮎川監事、古井監事、岩崎副学長、白沢学長補佐、高村総務部長、中村人事部長、  
本多財務管理部長、松永施設・環境部長、清水教学支援部長、大木総合情報戦略部長、  
丸山医学域総務課長、望月企画課長、山田研究支援課長、小林総務課長、  
九鬼財務管理課長、石原監査室長

### 議事要録確認

第67回経営協議会（27.6.25開催）及び第68回経営協議会（メール審議）の議事要録を確認した。

### 審議事項

- 1 平成27年人事院勧告に伴い改正される給与規程等に準拠して行われる国立大学法人山梨大学職員給与規程等の一部改正（案）について  
下間理事から、平成27年人事院勧告に伴い改正される給与規程等に準拠して行われる国立大学法人山梨大学職員給与規程等の一部改正（案）について、資料1により、国家公務員給与法等の改正に準拠するものとして、本学の状況に適合するよう関係規程等所要の整備を行う方向性である旨の説明があり、審議の結果、これを承認し、追って学内で関係規程等改正の検討を進めて行くこととした。
- 2 安全保障輸出管理規則の整備（案）について  
早川理事から、安全保障輸出管理規則の整備（案）について、資料2-1から資料2-4（参考資料）により、これまで事務組織として位置付けてきた安全保障輸出管理センターについて、事務組織の改編が行われたことから、同センターの設置根拠を明確にし、本法人の運営組織として位置付けるため、基本規則をはじめとする関係規則の整備を行う旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 3 国立大学法人山梨大学授業料等に関する規程の一部改正（案）について  
杉山理事から、国立大学法人山梨大学授業料等に関する規程の一部改正（案）について、資料3により、本学におけるグローバル化の促進のため、本年度に学生寄宿舍（芙蓉寮及び甲府国際交流会館）の改修を実施することに伴い社会情勢等を考慮して寄宿舍料の改正を行う旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 4 平成 27 年度学内補正予算（一次）編成（案）について

杉山理事から、平成 27 年度学内補正予算（一次）編成（案）について、資料 4 により、説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 5 平成 27 年度自己点検・評価の実施（案）について

早川理事から、平成 27 年度自己点検・評価の実施（案）について、資料 5 により、実施スケジュール等の説明があり、審議の結果、これを承認した。

### 報告事項

#### 1 教育研究評議会の開催状況について

下間理事から、第 139 回教育研究評議会及び第 140 回教育研究評議会の開催状況について、資料 6 により報告があった。

#### 2 役員会の開催状況について

下間理事から、第 159 回役員会及び第 160 回役員会の開催状況について、資料 7 により報告があった。

学長から、第 159 回役員会で審議のうえ文部科学省に申請した「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」について、先ほど文部科学省から E メールで本学の事業が採択された連絡が入った旨の報告があった。

#### 3 大学院の専攻の設置等に係る審査結果について

早川理事から、大学院の専攻の設置等に係る審査結果について、資料 8 により、大学院修士課程生命環境学専攻及び工学専攻の設置、並びに医工農学総合教育部・生命医科学専攻・教育学部への名称変更が了承された旨の報告があり、これらに係る入学定員の変更及び生命環境学部のコース新設等に伴う入学定員増について、文部科学省ホームページに公表され、学生募集活動を開始した旨、併せて報告があった。

#### 4 平成 28 年度概算要求の状況について

杉山理事から、文部科学省から財務省に要求した平成 28 年度概算要求の状況について、資料 9-1 及び資料 9-2 により報告があった。

#### 5 平成 26 事業年度財務諸表の承認について

杉山理事から、平成 26 事業年度財務諸表の承認について、資料 10 により、8 月 31 日付通知により文部科学大臣から承認を受けた旨の報告があった。

#### 6 平成 27 年度国立大学改革基盤強化促進費・申請の結果について

杉山理事から、平成 27 年度国立大学改革基盤強化促進費・申請の結果について、資料 11 により、要求した 2 事業に関して不採択であった旨の報告があり、別財源（平成 27 年度運営費交付金「学長リーダーシップの発揮」を高める特別措置枠）によりアクティブラーニング部分のみ取り出し約 1 億円が支援されることとなった旨の説明があった。

学長から、教育研究環境の整備において、機器の更新ができにくい状況となっているので、大学として検討を進めていく旨の説明があった。

## 7 その他

### (1) 平成 27 年度学長等と外部有識者との意見交換実施状況について

学長から、追加配付資料「平成 27 年度学長等と外部有識者との意見交換実施状況一覧」及び「平成 27 年度外部有識者等との対談（予定）一覧」により、これまでの実施状況について報告があり、今後も継続して学外及び海外交流を発展させていく旨の説明があった。

以上

## 学外委員からの意見等

### ○審議事項 2

安全保障輸出管理規則の整備（案）について

（原委員）

安全保障輸出管理に関してこれまでに禁止された事例があるのか、また、いつ違反が発生する分らないので、安全保障輸出管理体制を整備しておく必要がある。

（山田研究支援課長説明）

相談件数は以下のとおりで、これまで許可の申請はない。

- ・平成 24 年度 7 件
- ・平成 25 年度 2 件
- ・平成 26 年度 2 件

### ○報告事項 2

「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」について

（丸茂委員）

地元工業会において、機械・電子部門は人材不足であるので、地方創生事業を推進してほしい。

（学長）

工業会等のご意見を取り入れながら、学生をしっかりと教育し、地域創生事業を推進していきたいと思います。

### ○報告事項 6

平成 27 年度国立大学改革基盤強化促進費・申請の結果について

（内田委員）

アクティブラーニングについては良い成果を期待している。

（学長）

一層発展させていきたいと思っています。

### ○その他

（奥村委員）

スペースを確保して寄附講座を積極的に受け入れたらどうか。

（佐山委員）

ワインを売りにする寄附講座を関係企業に要請したらどうか。

（学長）

各委員からいただいたご意見を取り入れながら、検討していきたいと思っています。